

インフォメーションディスプレイ Vol.24



救急部
助教 医学博士

布廣 龍也 様

長崎大学医学部・歯学部附属病院 様

1861年、ポンペ・ファン・メルデルフォルトにより附置された、日本で最初の西洋式附属病院が前身の長崎大学医学部・歯学部附属病院様。長崎らしいエピソードを持つこの病院様では、最高水準の医療の提供と、人間性豊かな、優れた医療人の育成を基本理念として運営され、現在33の診療科・部門で一日平均外来患者数1,496人もの方々の診断・治療を行ってまいります。



所在地：長崎県長崎市

検査画像参照用ディスプレイとして『PN-455C』を導入。
救急現場での治療方針の決定に役立っています。

PN-455C
1台導入
(診察室)

長崎大学医学部・歯学部附属病院様では、救急で運ばれてきた患者さまの症状や治療方針などを早期に判断できるよう、救急部に『PN-455C』を1台導入されました。

従来は、各種検査システムの検査結果の画像をフィルムや小さなパソコン画面を見ながら、複数の医師で診断していました。しかし、今年3月にインフォメーションディスプレイ『PN-455C』を導入してからは、その大画面を活かし検査映像をリアルタイムに更新しながら治療方針を決定することが可能になりました。放射線科のサーバーと直結することで検査映像の拡大・回転も自在にでき、従来に比べ迅速に治療をすることが可能になったとのことです。



救急部の診察室に設置されたPN-455C。天井にLANポートが設けられているので配線もすっきりしている。



PC一体型のインフォメーションディスプレイなので、別途パソコン設置のスペースも必要としない。

導入時の評価ポイント

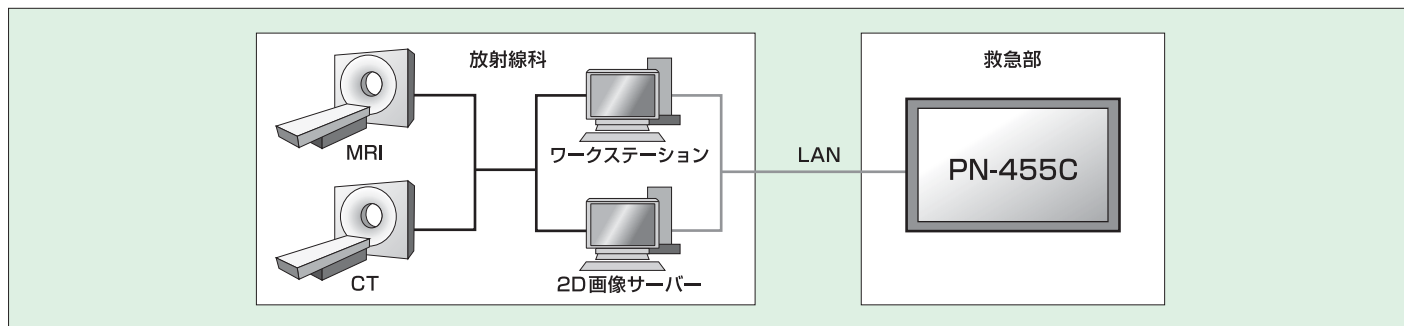
■ 複数の医師が同時に見ることができる
■ 45型の大画面を活かした表示力

■ 細部まで細かく見られる
■ フルスペックハイビジョン(1,920×1,080画素)の高解像度

■ 3D化された検査画像を
■ 色鮮やかで鮮明に表示

■ 明るい診察室の中でも
■ 写り込みが少ない美しい画面

■ システム概略図



導入の経緯

**きっかけは放射線科との連携。
放射線科のワークステーションにある画像データを、
すぐに見られるのはポイントでした。**

長崎大学医学部・歯学部附属病院様では2~3年前からIT化を推進。その過程で放射線科にはいち早く、CTやMRIの画像をサーバーにストックできるワークステーションを導入されていました。

しかしこのシステムは放射線科の中だけで完結しており、各種検査画像を見るためには、従来のように専用のプリンタで現像するか、わざわざ放射線科まで出向いて、パソコン用の小さな画面で確認するしかありませんでした。

しかし以前より学会での情報や他の病院での導入事例、専門誌での広告などで大型ディスプレイの導入効果をご存じだったことと、タイミングよく導入の提案があったこともあり、すぐに『PN-455C』の導入を決定されました。

このプリンタで現像して、約100m離れた救急部まで映像フィルムを運んでいた。



サーバーが設置されている放射線科の部屋。

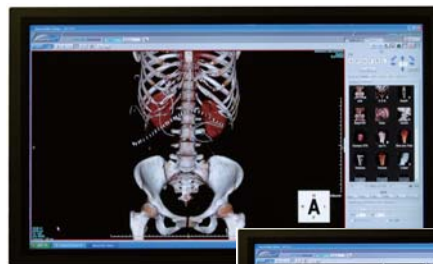
導入後の感想

**大きく見やすい画面に大満足。
治療経過の説明には、過去のデータも一括表示しています。**

救急部の布廣助教は『PN-455C』導入後は映像フィルムを運ぶ手間が省け、またCTやMRIの画像を大きなディスプレイで見ながら話すことにより、治療方針を決定するのに要する時間が10~15分程度短くなりました。と話されます。また導入されているシステムは、MRIやCTでとった画像をもとに、3D画像を作成する機能がありますが、「3D画像を見るには高い解像度が必須」とのことでした。

また、患者さまへの症状や治療経過などの説明にも使用されています。「大画面だから、

過去の画像データを複数枚並べて表示することができ、患者さまの病態がよりよく分かるようになりました。患者さまからも分かりやすいと非常に好評です。」(布廣助教)とのこと。またこのシステムを利用して、研修生の方々へのレクチャーにも活用されているようです。



写し出された3D画像。体の中の様子が、細かに表示されている。

アングルを変えたり、骨を取り除いて必要な部位だけ表示させたりなど、操作はすべてPN-455Cから行っている。



今後の展開予定

**他部門との連携や電子カルテとの連動、
インフォームド・コンセントも見据えています。**

「脳神経外科など他の部門でも導入は検討しているようです。」と布廣助教。インフォメーションディスプレイの利便性は、院内

にも徐々に伝わっているようです。あわせて「来年の電子カルテ導入も見据えて、患者さまに病状や治療経過を説明するために

積極的にインフォメーションディスプレイを活用していきたい。」とのことでした。

● お問い合わせは

シャープ株式会社

情報通信事業本部 ビジネスソリューション事業部
電話：(03)3260-8217 / (0743)55-6373

2007年8月発行